

## レギュレーションと競技説明

2010年11月10日 第1版

### 1 機体レギュレーション

#### 1.1 機体

- 機体に使用するサーボモーターは全て近藤科学製、または ROBOSPOT オリジナルサーボモーターであること。
- 軸数制限なし。
- 機体重量は 3kg 以下であること。
- 機体形状は人型以外であること。
- 機体は折りたたんだ状態で、全高 30cm、横幅 30cm、奥行き 30cm を超えてはいけない。また、この大きさ制限は、機体に取り付けたセンサーなども含む。但し、サーボリードやセンサーなどのケーブル、無線操縦用のアンテナは制限規約から除外する。
- フレーム、パーツ類は近藤科学製を使用するか、自作、または下記メーカーの製品が使用可能。
  - (株)イトーレイネツ製 モモガッチリ板 SC シリーズ YDH2500
  - クラフトハウス(株)&Hotproceed 製 機体用パーツ
  - (株)アール・ティ製 機体アーム KHR-1 装着キット(商品コード:RT0003)
  - エルエルバレス(株) 機体用パーツ(Roppo:NeeBo 等)
  - 京商(株)製 機体用パーツ
  - ROBOSPOT オリジナルブラケット
- 車輪での移動を禁止する。
- 外装は寸法規定を満たしていれば自由とする。ただし、以下の点に注意すること。
  - 公序、良俗に反しないものとし、特定の宗教、思想によるものは禁止。
  - 外装が特定の著作権にかかるものは、個人の責任にて使用すること。
- 使用するバッテリーの種類は問わないが Li-Po バッテリーは厳重に管理すること。
- フィールドやその他設備を傷つけるような装飾品などを装備してはならない。
- 足裏へはフィールドを傷つけない材質のみ貼り付けを認める。
- 機体・液体を噴射する装置、発火装置は搭載してはならない。
- 刃物や高速で回転するものなど危険なものは禁止とする。
- 吸引吸着装置を足裏に設けてはならない。

※受付時に審査を行い、不適切と思われるものについては取り外しなどをお願いする場合があります。

#### 1.2 マイコンボード

- 特に制限はない。

#### 1.3 操縦・通信

- 無線操縦、または自律動作を認める。有線操縦は禁止。  
純正無線ユニット以外の使用も可能。ただし、会場の電波状態は保証されないので参加者の責任で使用すること。なお、周波数交換式の場合は、1体につき2波以上の周波数を用意すること。
- 無線 LAN を使用する場合、他のネットワーク使用者の迷惑にならないようにすること。問題のある場合はネットワーク使用中止を言い渡される場合がある。

## 1.4 センサー

- 機体に接続しているセンサーのみ有効とする。
- センサーに制限はないが、レーザーポインターなど人体を傷つける危険性があるものは搭載禁止。

## 2 コースレギュレーション

- KHR クラスサッカーフィールド([詳細はこちら](#))内部に障害物を設置する。
- コース内で最も狭い道幅は 400mm。
- コース内で最も低い天井の高さは 400mm。
- 床面の材質は各障害物によって異なる。

※その他、詳細は別紙にて公開。

## 3 競技レギュレーション

### 3.1 競技方法

- 競技は 1 体ずつ走行する。
- スタート地点からゴール地点到達までのタイムで勝敗を決める。
- ゴールは機体全部がゴールラインを通過した時点とする。ただし、アンテナ、ケーブル類はこれに含まれない。
- ゴールした時間が最も短かった機体を優勝とする。ゴールする機体なかった場合は優勝不在とする。その場合、特別賞のみ表彰する。
- 1 体が走行できる回数は 2 回。
- 制限時間は 3 分。

### 3.2 リタイア・ギブアップ

- 制限時間 3 分以内にゴールできなかった場合はリタイアとなる。
- 主審により続行が危険だと判断された場合はリタイアとなる。その場合、操縦者は機体を脱力状態にすること。
- コースから外れた場合は即刻リタイアとなる。
- 操縦者の判断でギブアップを宣言し主審が許可した場合、試合を途中棄権することができる。但し、機体の回収は主審に任せること。

## 4 大会賞品

優勝:金メダル + 賞品  
準優勝:銀メダル + 賞品  
3位:賞品  
特別賞:賞品

## 5 改訂履歴

※レギュレーションは関係者の都合により一部変更する場合があります。